



末吉小だより

横浜市立末吉小学校
学校だより

令和3年 5月号

かかわりながら 学ぶ

学校長 本庄 則子



朝晩の風は冷たく感じることもありますが、昼間の日差しは強くなり、早くも夏が近づいてきているを感じる頃になりました。

1年生が「おはようございます」「さようなら」と正門や教室で元気よく挨拶をしています。末吉小学校では、毎年30前後の幼稚園・保育園・認定こども園等から1年生を迎えます。各園では、小学校入学という環境の変化によりストレスを感じないように、アプローチカリキュラムを組んでくださっています。そして小学校も、入学した児童に学校は楽しい、友達がいてくれてうれしい、と思ってもらえるようにスタートカリキュラムを実施しています。登校後、安心してすごせるような活動「なかよしタイム」や生活科を中心とした「わくわくタイム」、教科を中心とした「ぐんぐんタイム」。もちろん、感染症拡大防止の対策をした上で、先生と友達とかかわりながら学校生活を円滑にスタートできるように工夫をしています。子どもたちだけでなく、4月から着任した教職員も末吉小学校になじんできました。5月号では、1年生の様子や新しい教職員の紹介をしていますので、どうぞご覧ください。

さて、末吉小学校の学校目標は、「かかわる わかる かがやく 末吉っ子」です。昨年度のはじめは、ソーシャルディスタンスをとり三密を避けなくてはならないことから、なかなか「かかわる」、特に人とかかわることが難しいと感じました。

対面の会話ができなかったり、保護者や地域の方々に学校にいらしていただけなかったりしたからです。それでも、「総合的な学習の時間」に取り組んだ学習の中で、老人ホームや介護施設に手作りマスクをお届けした学級、済生会横浜市東部病院の医療従事者の方へ激励カルタをお届けした学級がありました。ごみ問題を調べ、環境にやさしい地域にしたいとポスターをつくった学級、調べたことを休み時間をつかって発表した学級もありました。プログラミングでつくったゲームで他学年に遊んでもらった学級、環境問題について調べ、古着を集めて送った学級もありました。どの学年・学級の子もたちも、自分たちだけではなく、他の学級、学年、地域の方々とかかわることによって学習を広げたり深めたりしていました。

課題を解決するにあたって「人・もの・こと」とどのようにかかわっていくかは大切なプロセスです。今年も現状でできる「かかわり」を探りながら、学びを進めていきます。

